

令和7年度 山岳遭難救助研修会 開催要項

1 目的

消防、警察、自衛隊、民間救助組織をはじめとした、山岳遭難救助活動を行う組織の指導的立場にある者を対象とし、遭難救助に関する知識と技術、構成法及びその指導法の習得により、現場での即応力及び指導者としての資質の向上を目指す。

2 主催

独立行政法人日本スポーツ振興センター国立登山研修所

3 後援

スポーツ庁

4 協力

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会

北海道警察山岳遭難救助隊

長野県警察山岳遭難救助隊

岐阜県警察山岳警備隊

富山県警察山岳警備隊

東京消防庁

5 期間

令和7年10月5日(日)～令和7年10月9日(木)の5日間

6 場所

※令和7年度は、国立登山研修所施設改修のため宿泊(入浴を含みます。)することができません。

【宿泊施設】

山野スポーツセンター

〒930-1452 富山県富山市本宮12

<https://www.sanya.jp/access.htm>



【研修施設】

独立行政法人日本スポーツ振興センター国立登山研修所

〒930-1405 富山県中新川郡立山町芦峯寺ブナ坂6

電話:076-482-1211 E-mail:tozanken-info@jpnsport.go.jp

<https://www.jpnsport.go.jp/tozanken/tabid/117/Default.aspx>



【入山エリア】(予定)

独立行政法人日本スポーツ振興センター国立登山研修所周辺山域

※ 国立登山研修所から半径4km 圏内(大品山・瀬戸蔵山山麓、雑穀谷等)を中心に活動します。

※ 天候等により入山エリアを変更することがあります。

7 応募資格・募集人数

(1) 応募資格

ア、イ及びウのいずれも満たすこと。

ア 所属長(本部長、署長等)が推薦する者であること。

イ 登山の基本的技術を修得している者であること。

ウ 各都道府県における山岳遭難救助組織(警察、消防、自衛隊、民間救助組織等)の指導的立場にある者であること。

(2) 募集人数

32名

8 日程及び内容

日程	内容
10月5日(日)	受付開始7:30【山野スポーツセンター内】開講式、講義、全体研修
10月6日(月)	講義、班別研修(支点構築、登はん、自己確保・制動確保、ガーディアン 等)
10月7日(火)	班別研修(支点構築、登はん、自己確保・制動確保、ガーディアン 等)
10月8日(水)	班別研修(支点構築、登はん、自己確保・制動確保、ガーディアン 等)
10月9日(木)	班別研修、閉講式 解散14:30頃

※ 10月4日(土)前泊希望の方は、参加者選考・参加承認後のご案内時にお申し込みください。

【電車で前日お越しの方】10月4日(土)は、富山地方鉄道立山駅17:05着の電車でお越しください。立山駅⇄山野スポーツセンター間は、国立登山研修所手配車両にて送迎します。集合場所等の詳細は、前泊希望者に個別にお知らせします。

【電車で当日お越しの方】10月5日(日)は、富山地方鉄道立山駅7:07着の電車でお越しください。

【車で前日お越しの方】 10月4日(土)は、山野スポーツセンターに18時までに到着してください。山野スポーツセンターに駐車できます。

【車で当日お越しの方】 10月5日(日)は、山野スポーツセンターに7時30分までに到着してください。山野スポーツセンターに駐車できます。

※ 詳細な日程及び内容は、別添1(国立登山研修所ウェブサイトにも掲載)をご参照ください。

(<https://www.jpnsport.go.jp/tozanken/syusai/tabid/75/Default.aspx>)



9 個人装備

別添2(国立登山研修所ウェブサイトにも掲載)を参考にしてください。

10 参加申込方法

(1) 所属団体の所属長等(本部長、署長等)が、参加希望者を推薦して、お申し込みください。

(2) 国立登山研修所のウェブサイトに掲載のお申込フォーム(※令和7年7月22日(火)掲載予定)にアクセスし、推薦者の事務担当部署ご担当者様が入力、ファイル(Excel形式)をアップロードしてお申し込みください。

(3) 「参加申込者個人票」(別添3・国立登山研修所ウェブサイトにも掲載)をご参照の上、事前に参加希望者に入力いただいた上で、お取りまとめの上お申し込みください。

(4) 申込期間:令和7年7月22日(火)～令和7年8月1日(金)

11 参加者の決定

(1) 関係機関(消防庁等)と国立登山研修所が、参加申込内容をもとに協議の上選考し、参加者を決定します。

(2) 参加可否については、推薦者の事務担当部署ご担当者様宛てに電子メールにて、令和7年8月中旬を目途に通知します。

※ 参加申込者ご本人宛てに直接は通知しませんので、推薦者の事務担当部署ご担当者様からご本人へお知らせください。

(3) 参加承認者には、健康診断書(当所指定の様式に限ります。)の提出、傷害保険申込等に関して事

務連絡を行います。

※ 健康診断書の提出に必要な経費は、参加者の負担となります。

※ 天候や感染症の拡大等により研修会を中止した場合でも、主催者側では負担しません。

※ 研修会は、班単位で行動します。また、参加者の山岳遭難救助経験、登山経験、体力等を参考に班編成します。ただし、参加者の状況によっては、この限りではありませんので、ご承知おきください。

12 参加費用

内訳	金額
(1) 山野スポーツセンターにおける宿泊料金(全日程分) (※10/4(土)前泊者は、別途1,180円がかかります。)	4,720円
(2) 山野スポーツセンターにおける朝食・夕食料金 (※朝食900円×10/6(月)～9(木)、夕食1,300円×10/5(日)～8(水))	8,800円
(3) 国立登山研修所における施設利用料(全日程分)	500円
(4) 昼食(弁当)料金 (※1,000円×10/5(日)～9(木))	5,000円
(5) 傷害保険料 (※公務災害、ご自身の山岳保険等で対応される方は、申込の必要はありません。)	4,000円又は5,000円 ※参加者で選択
(6) 諸費用(資料代ほか)	1,100円

※ 受付時に合計金額を集金しますので、お釣りのないように現金でお持ちください。

※ 日中の行動食は、参加者で準備してください。

13 参加申込の取消しについて

参加申込後、何らかの理由によりやむを得ず申込を取り消す場合は、必ず推薦者の事務担当部署ご担当者様から国立登山研修所に、申込取消しの理由等を連絡してください。

※ 参加希望者本人から直接、国立登山研修所への申込取消しの連絡は受け付けません。

14 その他

(1) 研修会期間中の写真・動画の撮影は禁止です。特に、ヘルメットにアクションカメラのアタッチメントを装着しての撮影や、行動中のスマートフォンによる撮影等は危険なため、お控えください。

(2) 主催者及び講師が撮影・録画した静止画・動画を、主催者又は講師が広報活動、報告書等に使用・公開する場合があります。